

令和7（2025）年度学校法人福岡大学事業計画



学校法人福岡大学では、令和 2（2020）年度からの 15 年間で 3 期（第 1 期：2020-2024、第 2 期：2025-2029、第 3 期：2030-2034）に分け、各 5 年間の行動計画として、中長期計画を策定することとし、中長期計画を推進するための具体的な年度計画として、事業計画を策定しています。

令和 6（2024）年度をもって、「学校法人福岡大学第 1 期中長期計画（2020-2024）」が完了したことに伴い、令和 7（2025）年 3 月に「学校法人福岡大学第 2 期中長期計画（2025-2029）」を策定しました。

第 2 期中長期計画では、「教育」「研究」「医療」「地域連携・社会貢献」「組織改革・人事制度・財政基盤・施設整備」の 5 つの分野について、本法人が令和 7（2025）年度からの 5 年間で目指す目標とその実現に向けて重点的に取り組む事項を設定し、単年度ごとの事業計画と連動させることにより、確実に計画を実施していきます。

令和 7 年度学校法人福岡大学事業計画では、18 歳人口の減少、グローバル化の進展、情報技術の発展等に伴う高等教育機関を取り巻く環境の急激な変化を受け、先行きが不透明になった時代に対応するため、ガバナンス及び財政基盤の強化、教育改革、施設整備、情報インフラの整備などの重点的に取り組む内容を掲げました。

具体的には、「新たな教養教育（共通教育科目）の検討」「海外研修・海外語学研修の派遣先の新規開拓」「分野横断型研究への支援制度の検討」「病院経営基盤の強化」「学内外の人材の交流やマッチングが促進される仕組みの整備・実施」「緊急事態の対応マニュアル（BCP を含む）の検討」「バリアフリー・ユニバーサルデザイン化の検討」「学生の主体的な学びの促進や学習支援に向けた BYOD 情報端末活用のためのインフラ整備」など、中長期計画に掲げる 5 つの分野ごとに取り組む内容を掲げています（詳しくは次頁以降をご覧ください）。

令和 16（2034）年度に迎える福岡大学創立 100 周年とその先に向け、建学の精神に基づき、教職員が一丸となり、この事業計画を着実に実行するとともに、新しい福岡大学の基盤構築を推し進めていくことで、教育・研究・医療を通じた社会貢献に寄与するよう邁進してまいります。

主な取組項目

A. 教育

(1) 大学

A-1 総合大学の強みを生かした共通教育、学修者本位の学び、教育の質保証の推進

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標

A-① 学修者本位の学び及び学生・社会のニーズに合ったカリキュラムの展開

- 共通教育の再構築(科目の創設・精選・統合)を図ります。
- 学士課程教育の充実を図ります。
- 教学 IR*を推進します。

※ Institutional Research の略。意思決定や計画立案に必要な情報の収集・分析・提供のこと。

<令和7年度事業計画>

- ・新たな教養教育(共通教育科目)の検討
- ・授業改善の取り組みの強化として、適正な時間割、授業科目数の検証
- ・学位(教育)プログラムの学習成果に関わるアセスメントの実施

A-2 教育環境、学習支援体制の整備

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標

A-② 社会の変化を見据えた教育環境の向上、学生の成長を促すサポート体制の整備

- 学習状況・学習成果・正課外活動による学生の成長の見える化を図ります。
- 組織横断的な総合学生支援体制を構築します。

<令和7年度事業計画>

- ・学生の成長を把握するための仕組み作りに向けた検討
- ・教学における学生支援体制の検討

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標

A-③ 正課外教育の充実

- 正課外教育の活性化を促す学友会活動の充実を図ります。

<令和7年度事業計画>

- ・学友会活動における課題の検証

A-3 グローバル人材の育成

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標

A-④ 海外留学の促進・支援強化

- 海外研修・海外語学研修の派遣先を拡大するとともに、従来の交換留学だけでなく1年未満の交換留学を実施します。

<令和7年度事業計画>

- ・1年未満の交換留学の募集開始

- ・海外研修・海外語学研修の派遣先の新規開拓

(2) 大学院

A-4 大学院の活性化

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標
A-⑤ 大学院各研究科・専攻の再構築
●各研究科・専攻再編の全体構想を策定し、改組（再編・統合等）を図ります。

<令和7年度事業計画>

- ・大学院各研究科・専攻の改組（再編・統合等）の目的・必要性の全学的共有

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標
A-⑥ 内部質保証体制の検証及び教学に係る取組改善による教学マネジメント体制の確立
●3つのポリシーに基づく体系的な教育課程の編成を目指します。

<令和7年度事業計画>

- ・大学院に係る内部質保証体制、教学マネジメント体制の再点検

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標
A-⑦ 経済的支援・研究助成の充実
●大学院生に向けた経済的支援・研究助成の充実を図ります。

<令和7年度事業計画>

- ・大学院生に向けた各種経済的支援制度の整理と効果検証
- ・大学院生の研究助成につながる施策の整理と検証

(3) 附属学校

A-5 附属中学校・高等学校の教育課程の充実、経営基盤の確立、高大連携の強化

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標
A-⑧ 教育課程の充実
●【大濠】客観的データに基づく授業改善及び教育課程の見直し・改善を行います。
●【若葉】福岡大学への進学を見据えた外国人留学生を増加させるほか、国際感覚を醸成するプログラムを設置することにより国際性豊かな教育課程の充実を図ります。

<令和7年度事業計画>

- ・[大濠]新たな教育課程の原案作成
- ・[若葉]外国人留学生の受け入れに向けた情報収集
- ・[若葉]国際感覚を醸成するプログラムの検討

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標
A-⑨ 教育推進のための安定的な経営基盤の確立
●【大濠】入学志願者及び入学者確保に向けた広報活動の充実を図ります。 事業活動収支に基づく財政基盤の強化を図ります。

- 【若葉】中学校や地域との連携を強化するとともに、生徒・保護者の満足度を向上させます。

<令和7年度事業計画>

- ・[大濠]入学志願者及び入学者の分析
- ・[若葉]中学校教員、中学生、保護者等へ若葉高校の理解を深めるための新たな方策の検討

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標

A-⑩ 高大連携の強化

- 【大濠】高大連携の強化による「総合的な探究の時間」の充実とキャリア教育の推進を図ります。
- 【若葉】現在の高大連携による模擬講義などに加え、大学の先を見据えた模擬講義や、キャリアセンター等の協力による企業人や卒業生の講話等の機会を設けます。

<令和7年度事業計画>

- ・[大濠]「総合的な探究の時間」の充実
- ・[若葉]福岡大学の卒業生・企業人による講話の実施に向けた大学担当部署との調整（卒業生紹介・日程等調整）

B. 研究

B-1 研究の高度化の推進

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標

B-① 総合大学の強みを活かした分野横断型研究の着手・展開

- 社会課題解決を目指した分野横断型（異分野融合型）研究の創出及び推進に向けた支援を行うことにより、競争的な公的支援制度への申請数の増加を目指します。

<令和7年度事業計画>

- ・分野横断型研究への支援制度の検討

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標

B-② 研究推進体制の強化、制度の整備

- 公的研究費への申請や学外との研究契約締結に結びつけるための新たな研究支援制度や支援方を設けます。

<令和7年度事業計画>

- ・産学官連携及び知的財産活用に向けた効果的な支援方策及び支援体制の検討
- ・公的研究費の間接経費を活用した支援制度策定及び効果的な使用方法の検討

B-2 研究成果の社会への還元

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標

B-③ 研究ポテンシャルを活かした社会還元

- カーボンニュートラル※推進拠点の拡充及び社会課題解決に向けた研究の支援を行うことにより、産学官民等が連携した研究を創出します。

※ 二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量と吸収量の差を全体としてゼロにすること。

＜令和7年度事業計画＞

- ・カーボンニュートラル推進拠点の諸活動の支援・調整、及び将来構想案の策定
- ・産学官民等が連携した研究の支援策を検討するための調査

C. 医療

C-1 健全な病院経営の推進

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標
C-① 病院経営の安定化と運営体制の整備
●【福岡大学病院】改革プラン実行による医師の働き方改革を推進するとともに、経常収支の改善を図ります。
●【筑紫病院】将来計画を見直し、新たな将来計画を策定・実行します。
●【西新病院】こども病院跡地への移転・開業の実施と経常収支の改善を図ります。

＜令和7年度事業計画＞

- ・[福岡大学病院] 将来計画の実行・進捗管理
- ・[福岡大学病院] 医師の働き方改革への対応
- ・[筑紫病院] 経営基盤強化のための将来計画の見直しと新たな計画の策定
- ・[西新病院] 新病院開業に向けての移転スケジュールや診療体制、人員体制、設備配置計画の策定
- ・[西新病院] 医療収入の増収に向けた諸活動の実施

D. 地域連携・社会貢献

D-1 地域連携・社会貢献の促進

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標
D-① 社会連携活動の促進
●全学的に社会連携が促進される環境を整備し、社会の発展や課題解決に寄与する先進的・独創的な社会連携事業の創出を目指します。

＜令和7年度事業計画＞

- ・「社会連携プロジェクト支援制度」の実施
- ・学内外の人材の交流やマッチングが促進される仕組の整備・実施

E. 組織改革・施設整備・財政基盤・人事制度

E-1 ガバナンス及び内部統制、危機管理体制の強化

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標
E-① ガバナンス及び内部統制の強化
●定期的な確認・改善サイクルの実施に基づくガバナンス体制及び内部統制システムを構築します。

＜令和7年度事業計画＞

- ・改正私立学校法の対応状況の検証

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標
E-② 危機管理体制の強化
<p>●緊急事態が発生した際のマニュアル（BCP*を含む）を部門ごとに整備し、状況に応じ、見直しを図ります。また、リスク管理上、重大な危機事象が発生した際に専務理事及び理事長へ迅速に報告する体制を一元化します。</p> <p>※ Business Continuity Plan の略。災害やシステム障害などの緊急事態が発生したときに、企業や組織等が損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画のこと。</p>

<令和7年度事業計画>

- ・緊急事態の対応マニュアル（BCPを含む）の検討、リスク管理上の重大な危機事象についての情報一元化体制の検討

E-2 持続的発展のための組織構築

E-③ 人事制度改革
<p>●事務職員のキャリアパス制度を構築し、実施します。</p>

<令和7年度事業計画>

- ・キャリアパス制度の構築に向けた現状把握のために必要な情報の収集・分析

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標
E-④ 福岡大学創立100周年に向けた全学的組織の設置、基本構想の策定
<p>●2034年に福岡大学が創立100周年を迎えるにあたり、周年事業の基本構想の策定及び推進体制を構築し、実施します。</p>

<令和7年度事業計画>

- ・福岡大学創立100周年記念事業に係る基本構想の策定

E-3 持続可能な財政基盤の構築

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標
E-⑤ 学生の安定的確保
<p>●指定校の見直しと新規開拓を行い、目標とする推薦比率の設定とその達成を目指します。</p> <p>●本学への志願・入学意識に係る調査を高校生や保護者等を対象に実施し、「競合校より本学に入学したい・させたい」スコアを上昇させます。</p> <p>●学生の安定的確保につながる奨学金制度の充実を図ります。</p>

<令和7年度事業計画>

- ・在学生（卒業生）情報の収集と分析
- ・受験生や保護者の意識変容スコアの把握・分析方法の確立
- ・現状の奨学金制度の検証

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標
E-⑥ 経営IRの構築、エビデンスに基づいた意思決定の推進
<p>●戦略的な経営判断を可能とする客観的データの収集・分析及び組織体制を整備します。</p>

<令和7年度事業計画>

- ・データやエビデンスに基づいた最適・最良の意思決定及び本法人に必要な経営 IR 体制の検討

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標
E-⑦ 収入源の多様化と適正な予算編成
<ul style="list-style-type: none">●学校法人福岡大学未来サポート募金における支援事業等を拡充し、寄付金収入の増加を目指します。●IR データなどの客観的なデータをもとに部門ごとの「評価基準」を策定し、予算の再配分を行うことにより経常収支差額比率の改善を図ります。

<令和7年度事業計画>

- ・募金における支援事業の拡大
- ・法人予算における「評価基準」及び「予算配分基準」の検討

E-4 持続可能な法人運営体制の構築

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標
E-⑧ 法人運営の PDCA サイクル [*] の確立
<ul style="list-style-type: none">●中長期計画・事業計画、自己点検・評価などの PDCA サイクルを再整備し、適切に機能させます。 <p>※ Plan（計画）・Do（実行）・Check（評価）・Action（改善）の4工程を循環させることにより、継続的に業務改善を図ること。</p>

<令和7年度事業計画>

- ・中長期計画・事業計画及び自己点検・評価などの PDCA サイクルの検証・検討

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標
E-⑨ ブランディング推進
<ul style="list-style-type: none">●ブランディング推進に向けたスポーツ強化を図ります。●就職希望者に対する接触率を上げることにより、実就職率[*]の向上を図ります。●本学の特長を活かした重点業界群及び企業を選定し、当該企業への実就職数を増加させます。●就職支援のための在学生から卒業生までのネットワークを構築します。●ブランド力調査スコアの向上を図ります。●戦略的な広報活動を行うための体制を整備し、適切に機能させます。●社会の発展や課題解決に寄与する社会連携事業等の成果を適宜情報発信し、ブランディング推進を図ります。 <p>※ 実就職率=就職者数÷(卒業生数-大学院研究科・外国の学校等進学者数)×100</p>

<令和7年度事業計画>

- ・スポーツによるブランディング戦略の検討
- ・実就職率の向上に向けたキャリア支援等の強化
- ・就職支援のブランド化の施策として、本学の特長を活かした重点業界群及び企業の選定の検討・決定

- ・キャリアセンターに蓄積された卒業生のネットワークをもとに、FU キャリア人材バンク制度（仮称）の構築に向けた情報収集の実施
- ・ブランドイメージに係るスコアの把握・分析方法の確立
- ・広報体制の強化に係る検討
- ・社会連携事業等成果の情報発信及び広報・ブランディング戦略の検討

E-5 教育研究施設の充実

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標
E-⑩ 計画的なキャンパス整備の実現
<ul style="list-style-type: none"> ●キャンパスマスタープラン等の計画に基づき魅力的なキャンパスを整備します。 ●建物及び非構造部材の耐震対策を実施し、令和10年度までに耐震化率100%にします。 ●学生が快適に過ごせる、ラーニングコモンズ・ラウンジ等を充実させます。 ●既存建物の用途見直しを図り、学生の居場所を創出します。 ●バリアフリー・ユニバーサルデザイン化を推進します。

<令和7年度事業計画>

- ・キャンパスマスタープラン等の計画に基づくキャンパス整備の実施
- ・耐震化計画の実施
- ・学生の居場所造りの検討
- ・バリアフリー・ユニバーサルデザイン化の検討

E-6 情報インフラの整備、DXの推進

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標
E-⑪ 次世代の情報インフラの整備
<ul style="list-style-type: none"> ●BYOD※スペースを増やし、情報端末の活用を促進します。 <p>※ Bring Your Own Device の略。自身が所有するパソコンやタブレット等を持参して活用すること。</p>

<令和7年度事業計画>

- ・学生の主体的な学びの促進や学習支援に向けたBYOD情報端末活用のためのインフラ整備

第2期中長期計画の推進項目及び到達目標
E-⑫ DX※の推進
<ul style="list-style-type: none"> ●DX推進の基盤となる体制、学内ルール、環境等を整備し、業務効率の向上を図ります。 ●DX化により新たに導入したサービス（システム）の利用者満足度を向上させます。 <p>※ デジタルトランスフォーメーションの略。デジタル技術とデータを活用し、社会・産業・生活のあり方を変革すること。</p>

<令和7年度事業計画>

- ・DX推進に必要な基盤整備と試行的実施計画の策定